

## 記者発表資料

**鶴見川流域に新たに5つの応援団が加わります！**

～ 水マス推進サポーター認定式を開催します ～



鶴見川流域では、「鶴見川流域水マスタープラン(通称:水マス)」を策定し、市民、市民団体、企業及び行政が連携して水循環系の健全化に取り組んでいます。

この取り組みの促進のため、流域貢献活動を行っている団体を水マス推進サポーターとして今回新たに5つの団体を認定します。

日時: 令和元年6月6日(金)

13:30～14:15

場所: 鶴見川流域センター

(神奈川県横浜市港北区小机町2081)

JR横浜線「小机駅」より徒歩7分

内容: 水マス推進サポーター認定式



(昨年度認定式の様子)

※会場の都合により一般の方のご参加はできませんので、予めご了承願います。

※取材をご希望される報道関係の方は、「取材登録書」にて事前にお申し込み下さい。

### 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、神奈川県政記者クラブ、東京都庁記者クラブ

### 問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 京浜河川事務所

副所長 太田 敏之 (おおた としゆき)

代表 045-503-4000

流域調整課長 大野 光秀 (おおの みつひで)

直通 045-503-4009

## ■水マス推進サポーター制度

鶴見川流域では、平成16年8月に鶴見川流域水協議会（国土交通省、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、町田市、稲城市）により策定された「鶴見川流域水マスタープラン（通称：水マス）」の普及啓発を図るため、関係する流域の市民団体、企業及び行政により「ふれあって流域鶴見川実行委員会」を設置し、水マス啓発の活動を進めています。

この取り組みの一つとして、水マスのビジョンに沿った「流域貢献活動」をすでに行っている団体・企業を鶴見川の応援団「水マス推進サポーター」として認定し、それぞれの主体による「流域貢献活動」を通じて水マス推進のための情報交換や貢献活動の連携の輪に加わって頂くための仕組みが「水マス推進サポーター」制度です。

「水マス推進サポーター」制度は平成22年度からスタートし、令和元年度のサポーターは157の団体・企業となります。

## ■令和元年度「水マス推進サポーター」認定団体一覧

団体・企業名	活動内容	活動場所
新横浜町内会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体主催の地域イベント「新横浜パフォーマンス」で水マス広報の場所を無料で提供。</li> <li>・新横浜駅50周年記念誌「新横浜50周年の軌跡」で水害の歴史を掲載し、冊子を鶴見川流域センターに多数寄付。</li> <li>・港北区と協定を結び、治水貢献のためのレインガーデンを新横浜駅前公園に設置。</li> </ul>	新横浜地域
港北昔話かみしばい「たまたまばこ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・港北区の歴史を調べ紙芝居作成し、地域で上演。</li> <li>・昔の水害を象徴した紙芝居もあり。全国的な賞も受賞。</li> </ul>	港北区
フリーペーパーえがお	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者をプラチナ世代と位置づけ、交流フリーペーパーを作成。鶴見川流域センターのイベントを掲載。</li> </ul>	港北区
鶴見川 鎧塚の会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧河川の清掃。</li> <li>・生きもの調査。</li> <li>・鎧塚中枢の基調植物の保護</li> </ul>	鶴見川鎧塚及び上下流の旧河川
町田市立七国山小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鎧塚付近での鶴見川環境学習。</li> <li>・校庭内にビオトープ池を設置。</li> </ul>	七国山小学校

## ■水マス推進サポーター認定式

開催日時： 令和元年6月6日(木) 13:30～14:15

開催場所： 鶴見川流域センター（2F展示ルーム）  
（神奈川県横浜市港北区小机町2081）  
JR横浜線「小机駅」より徒歩7分

内 容： 水マス推進サポーター認定式

～ 認定証授与及び認定団体からの活動紹介 ～

### <鶴見川流域センターまでの案内図>



# 鶴見川流域水マスタープランの概要

鶴見川では洪水、水環境、自然環境、震災・火災、親水に対して、総合的に取り組むことによる「健全な水循環系の構築」を目指し、流域の市民、市民団体、企業、行政が協力して平成16年8月に鶴見川流域水マスタープランを策定しました。策定から10年以上が経過し、これまでの取組みを見直し、地球温暖化など近年の状況を踏まえ、平成27年12月に鶴見川流域水マスタープランを改定しました。

( 鶴見川流域水マスタープラン ホームページ [http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin\\_index049.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin_index049.html) )



## ■ 計画の内容

河川及び流域における水害の発生、河川流量の減少と水質汚濁、自然環境の悪化、震災・火災時の防災、減災、水辺とのふれあいの不足の問題・課題に対し、流域の社会動向を踏まえ、水循環系の視点から流域的視野で取り組むべき対応策を以下の5つの流域水マネジメントにまとめています。

### <基本方針>

#### <水マス5施策>

洪水時水マネジメント



☆洪水の危険から鶴見川流域を守ります

- ・流域が一体となった治水安全度の向上
- ・水害に強いまちづくり
- ・地球温暖化に伴う降雨量及び降雨強度の増大、海面上昇等の変化への適応
- ・小流域への豪雨による土砂災害への適応
- ・大規模震災に備えた津波に強い河川施設等の整備

平常時水マネジメント



☆豊かで清らかな水環境を創出します

- ・支川の自然の流量を確保
- ・地下水の保全・涵養と湧水の復活
- ・子供たちが水遊びでき、多様な水生生物が生息・生育・繁殖できる水質に改善
- ・東京湾への汚濁負荷の削減
- ・水を再利用する社会の実現

自然環境マネジメント



☆流域のランドスケープ、生物多様性を保全・創出・活用し自然とふれあえる都市を再生します

- ・流域に残された自然環境の保全
- ・水と緑のネットワークの保全・回復
- ・身近な自然と共生する都市の再生

震災・火災時マネジメント



☆震災・火災時の危険から鶴見川流域を守ります

- ・河川を生かした災害に強いまちづくり
- ・河川とまちの連携による防災ネットワーク化

水辺ふれあいマネジメント



☆河川とのふれあいを通じて、流域意識を育むうるおいのある暮らしを実現します

- ・流域学習の促進
- ・多様な資源を活用した流域ツーリズムの推進
- ・流域の環境に負荷をかけない暮らしの実践

# 水マス推進サポーター認定式 取材登録書

水マス推進サポーター認定式の取材をご希望の報道機関におかれましては、事前に登録をお願い致します。

**FAX送信期限** : 令和元年6月5日(水) 15時00分 まで

1. 報道機関名 \_\_\_\_\_

2. 取材者等

(1)ご氏名 \_\_\_\_\_

(2)連絡先 TEL \_\_\_\_\_

(3)取材人数 \_\_\_\_\_ 人

(4)テレビカメラの有無 有 無 「有」を選択した場合 \_\_\_\_\_ 台

3. 送信先 (FAX)045-503-4010

4. 問い合わせ

国土交通省 関東地方整備局 京浜河川事務所  
流域調整課 大野 光秀 TEL 045-503-4009(直通)

## 令和元年度水マスサポーター認定式の開催について

(報道の方へ)

標記式典について下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

### 記

1. 開催日時 令和元年6月6日(木) 13:30~14:15(予定)

2. 開催場所 鶴見川流域センター 2F

住所: 神奈川県横浜市港北区小机町2081

開催場所の最寄り駅:

JR 横浜線 小机駅 徒歩 約7分

※公共交通機関をご利用下さい。

3. 事前登録のお願い

・会場準備の都合上、事前登録制とさせていただきます。登録する際は、別紙を記入の上、6月5日 15時までにFAXにて送付をお願いします。

4. 報道関係者の受付

・受付日時 令和元年6月6日(木) 13:30~14:15(予定)

・受付場所 鶴見川流域センター 2F

・当日は、受付にて受付名簿に必要事項の記入をお願いいたします。

5. 取材に当たっての注意事項

取材に当たっては、以下の注意事項をご確認いただき、その遵守へのご協力をお願いします。

- ・事務局の指定した場所以外での撮影、取材は、ご遠慮ください。
- ・取材に必要な電源は、各社(各自)にてご用意下さい。
- ・携帯電話は、マナーモードにするか、電源をお切り下さい。
- ・会場では、着席のうえ、静粛にして下さい。
- ・会場での飲食及び喫煙はご遠慮下さい。
- ・事故防止の観点から、取材に当たっては節度ある行動をお願いします。
- ・手荷物・貴重品等の管理は各自にてお願いします。
- ・式典の円滑な進行のため、係員の誘導、指示に従ってください。